

# 【牛津高校】 自主防災組織育成出前授業

## 変わる防災 災害に備えて

～ 地域の情報を知り、災害に備えましょう!! ～

令和8年2月25日（水）



小城市  
防災対策課



2025 年  
3/26～28

## YMG のと震災ボランティア



<https://sjjg.ac.jp/20232628ymg/>



SAINT JOSEPH JOSHIGAKUEN

セントヨゼフ女子学園  
高等学校・中学校

# タイムスケジュール

時間	内容
10分	挨拶、自己紹介(クロスロードでアイスブレイキング)
10分	小城市での災害について
10分	情報収集について
20分	平常時での日頃の備えについて

# まずは挨拶、自己紹介を兼ねた クロスロードゲームです。

## クロスロードゲームとは？

- クロスロードとは、英語の「岐路」「分かれ道」
- 災害対応は、情報が不完全な中、ジレンマを伴う決断の連続。しかも待ったなし！
- これをカードゲームに仕立てたもの。
- 阪神淡路大震災の時、神戸市職員が対応を迫られた難しい判断を素材に2004年に作られた。現在は、「神戸編・市民編」の他、「市民編」「ボランティア編」が作成されている。



# 小城市での災害について

お ぎ し おお じ し ん お  
**小城市でも大きな地震が起きるかもしれません**

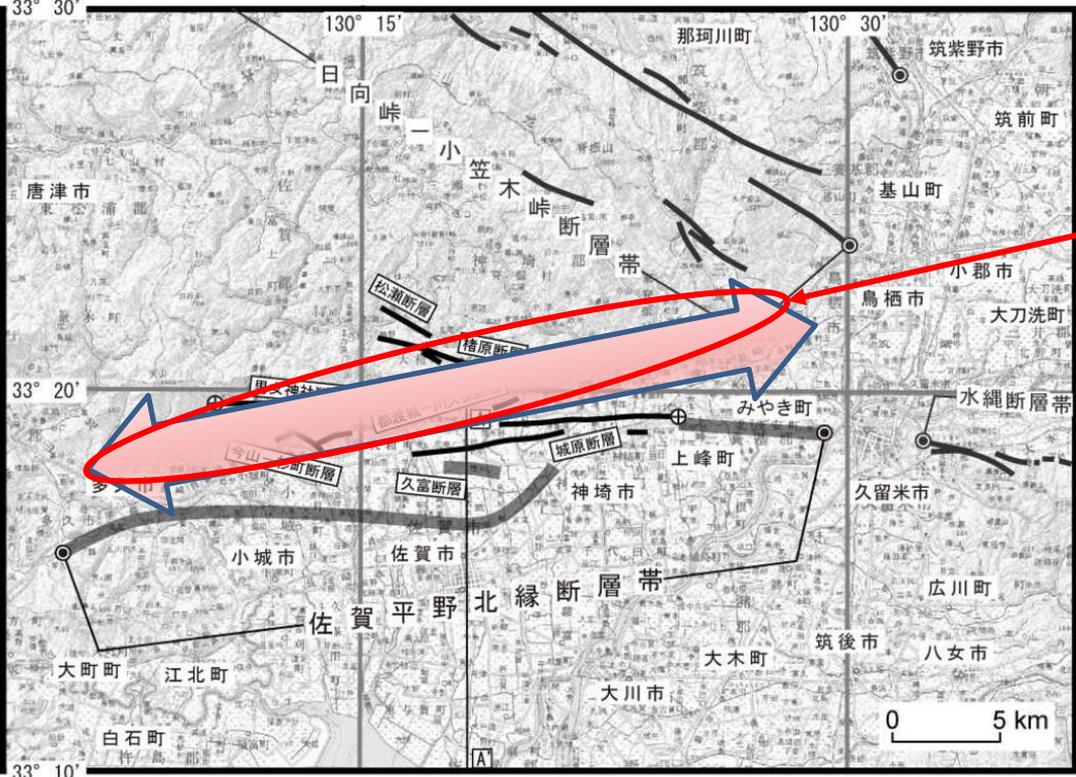


図2 佐賀平野北縁断層帯の地表における詳細位置と主な調査地点

き が へい や ぼく え ん だ ん そ う たい  
 佐賀平野北縁断層帯

ふくすう かつだんそう こうせい  
 複数の活断層から構成

地表：約22 km 地下：38 km

(お隣の多久市から神崎市まで)

かつだんそう  
 活断層とは、過去に繰り返し活動し将来も

かつどう  
 活動することが推定される断層のことです

じ し ん ち ょ う さ け ん ぎ ゅう す い し ん ほん ぶ よ う ご し ゅ う  
 (地震調査研究推進本部用語集)

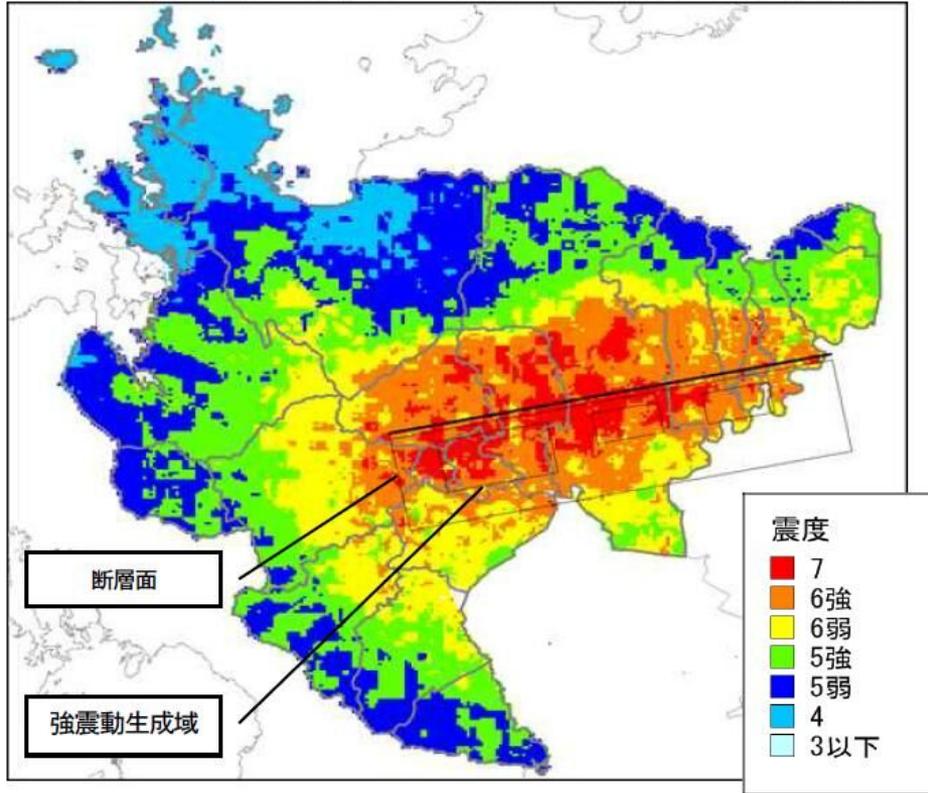


# 地震の被害想定結果一覧表:小城市

全・半壊焼失棟(冬18時)  
14,300棟(約2/3)

被害項目		震源断層 佐賀平野北縁断層帯 ケース4		
		冬深夜	夏12時	冬18時
建物被害	建物棟数(棟)	25,000		
	全壊・焼失棟数(棟)	約8,200	約8,300	約8,500
	全壊・焼失率(%)	33	33	34
	半壊棟数(棟)	約5,800		
	半壊率(%)	23		
人的被害	滞留人口(人)	45,000	38,000	41,000
	死者数(人)	約550	約270	約440
	死者率(%)	1.2	0.7	1.1
	負傷者数(人)	約2,000	約1,700	約1,700
	負傷者率(%)	4.4	4.5	4.1
	自力脱出困難者数(人)	約1,200	約740	約890
	自力脱出困難者率(%)	2.7	2.0	2.2
電力	電灯軒数(軒)	約18,000		
	停電軒数(軒)	約1,400	約1,500	約1,600
	停電率(%)	8	8	10
上水道	給水人口(人)	46,000		
	断水人口(人)	約44,000	約44,000	約44,000
	断水率(%)	96	96	96
下水道	処理人口(人)	20,000		
	機能支障人口(人)	約4,000	約4,500	約4,000
	機能支障率(%)	22	22	23

《佐賀平野北縁断層帯(強震動生成域3つ・西側大)による地震》



死傷者2,550人(冬深夜)  
(約20人に1人)

自力脱出困難者約1,200人(冬深夜)

小城市地域防災計画から

# 液状化危険度が高くなる面積が広い市町：震源断層ごと

表 3(2)-1 液状化危険度が高くなる面積が広い市町：震源断層ごと

震源断層	液状化危険度が「極めて高い」及び「高い」となる面積の割合	
	10%以上	10～2%
佐賀平野北縁断層帯 ケース 3	佐賀市、小城市、神崎市、 吉野ヶ里町、上峰町、みやき町、 大町町	多久市、江北町、白石町
佐賀平野北縁断層帯 ケース 4		

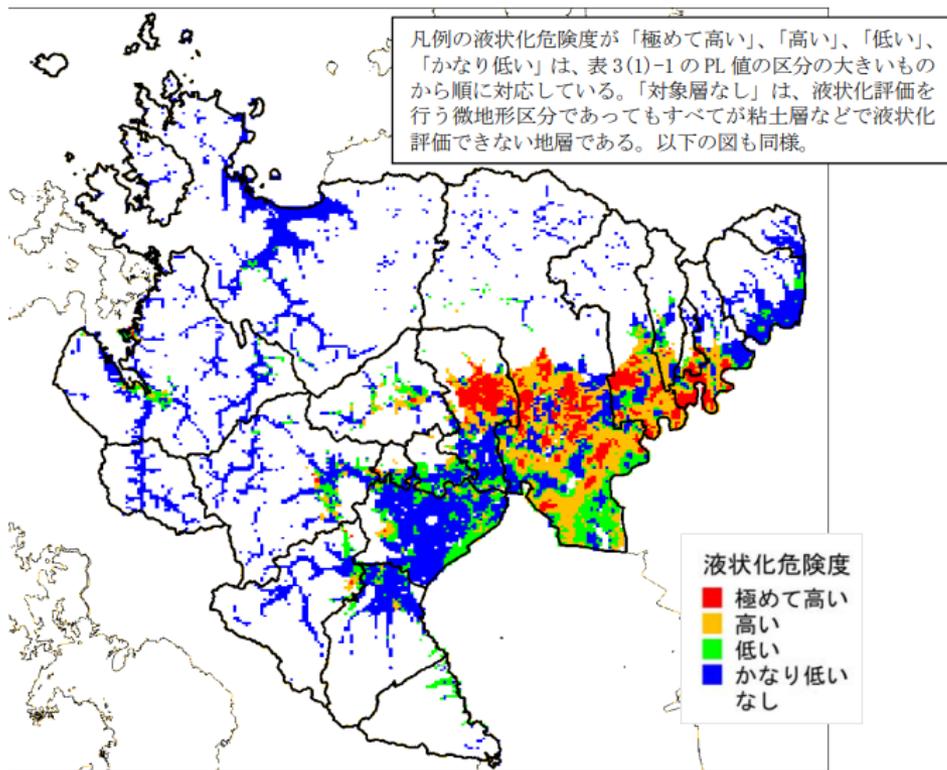


図 3(2)-1 液状化危険度の評価値の分布：佐賀平野北縁断層帯（ケース 3）  
震源断層の位置、想定される地震動については p.6 の図を参照のこと。以下も同様。

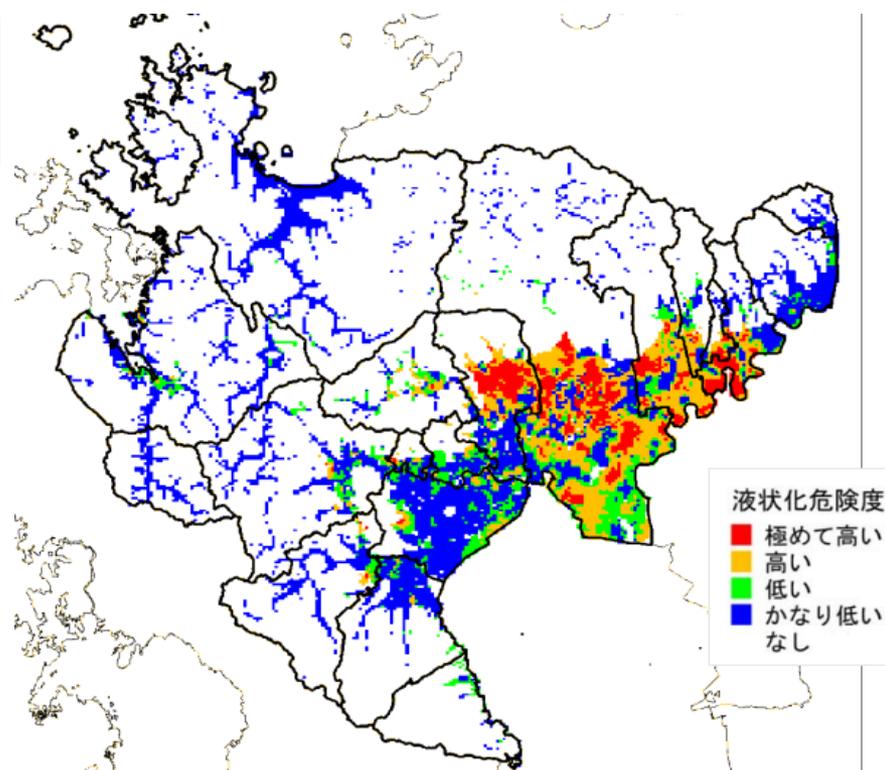


図 3(2)-2 液状化危険度の評価値の分布：佐賀平野北縁断層帯（ケース 4）

「土砂が噴水のように吹き上がっていた」



# 「病院の待合室が救護所に」



熊本地震（本震後午前5時ごろDMATで出動中の本職が撮影）

# 「病院の待合室が救護所に」



熊本地震（本震後午前5時ごろDMATで出動中の本職が撮影）

# 令和元年8月の大雨時における状況

## 令和元年8月豪雨の概要について

○8月27日（火）から、前線の活発な活動により九州の広範囲に強い雨域がかかり、長崎県、佐賀県、福岡県を中心に大雨となりました。

気象レーダー(注2)



○8月27日（火）夕方及び8月28日（水）早朝の2回、前線による降雨が続き、佐賀県に大雨特別警報が出される豪雨となりました。

### 記録的短時間大雨(解析雨量)

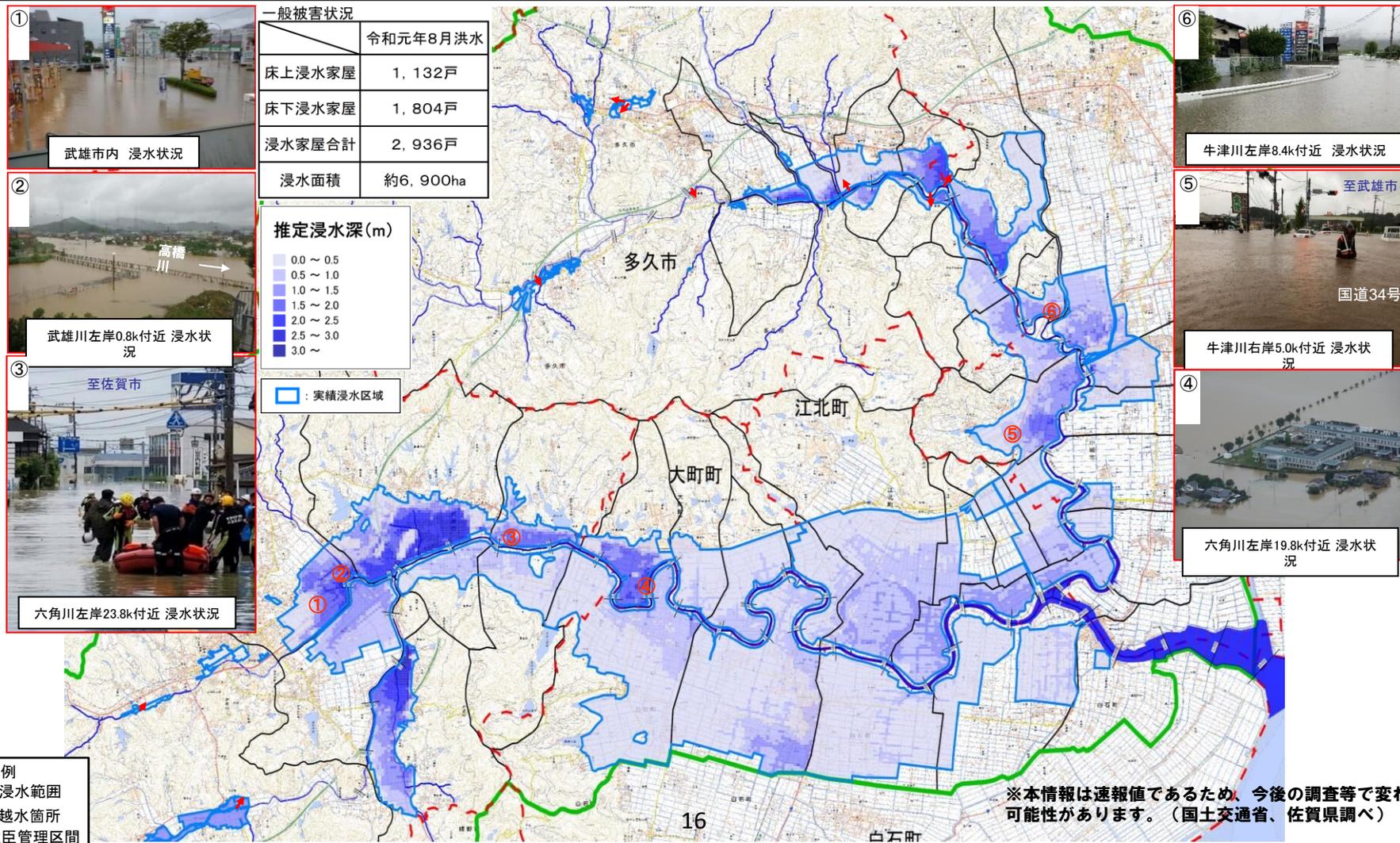
28日04時00分から04時50分にかけて多久市、武雄市、小城市、江北町、佐賀市、大町町、白石町、神崎市、吉野ヶ里町付近で1時間に約110ミリから120ミリ以上

(注2)  
災害気象資料  
—令和元年8月26日から28日にかけての佐賀県・福岡県・長崎県の大雨について—  
令和元年8月29日福岡管区気象台 より

(注1)  
国土交通省作成

# 令和元年8月豪雨の一般被害状況

○六角川では令和元年8月豪雨において、**9箇所**で河川からの越水が発生しました。浸水面積約**6,900ha**、浸水家屋**2,936戸**となる大規模な浸水被害となりました。 9月30日時点 国土交通省、佐賀県調べ



# 避難所に状況確認に行く消防団員



# 情報収集について

# 令和8年5月下旬から 防災気象情報が新しくなります！

	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル 1	早期注意情報			



はれるん



キキクル  
(気象庁ホームページ)

警報・注意報の名称にレベルが付記され、避難判断の目安が明確になる等の改善を行います。  
新たな防災気象情報に関する様々な資料を特設ページで公開しています。是非ご覧ください！

※はれるんは、気象庁のマスコットキャラクターです。

佐賀地方気象台  
☎0952-32-7026

# 情報が出たら、どう動く??

時間推移のイメージ

数日～  
1日前

## レベル1 早期注意情報

- ・災害への心構えを一段高める
- ・職員の連絡体制を確認する

半日～  
数時間前

## レベル2 注意報

- ・ハザードマップ等で災害リスクを再確認する
- ・自治体から発表される避難情報の把握手段を再確認する

数時間～  
3時間前

## レベル3 警報

- ・避難に時間がかかる**高齢者等は危険な場所から避難する**
- ・高齢者等以外の人にも必要に応じて避難の準備や自主避難

2時間～  
0時間前

## レベル4 危険警報

- ・**危険な場所から全員避難する**
- ※台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了

災害  
発生

## レベル5 特別警報

- ・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況
- ・今いる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する

# 小城市の災害情報配信一覧

登録をお願いします!

市では災害時において、防災行政無線のほかに下記の方法で情報配信を行っています。

## LINE公式アカウント

公式アカウントの友だち追加は  
QRコードを読み取るか

LINE 小城市 で検索



※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です

## 防災情報をお知らせします!

市が発信する大雨警報や避難所情報などの防災情報をプッシュ通知でお知らせします。

## 防災行政無線の内容確認ができます!

小城市内にいなくても、防災行政無線の放送内容が確認できます。過去の放送内容を、LINEで確認できます。



※公式LINEの友だち追加後にメニューの「受信設定」から「小城市災害情報等配信サービス」「防災行政無線」を選択してください。(裏面参照)

スマートフォンを使っていない方(携帯電話・固定電話)は、「災害情報等配信サービス」「防災行政無線聞き直しサービス」をご利用ください。

## 災害情報等配信サービス



メール・電話・FAXを使った災害情報配信サービスを行っています。気象警報や避難情報などの「災害情報」の提供を行います。詳細は、防災対策課(☎37・6119)までお問い合わせください。

## 防災行政無線聞き直しサービス

☎ 73・9238

防災行政無線が聞こえなかった場合、放送から3時間以内であれば電話で聞き直すことができます。



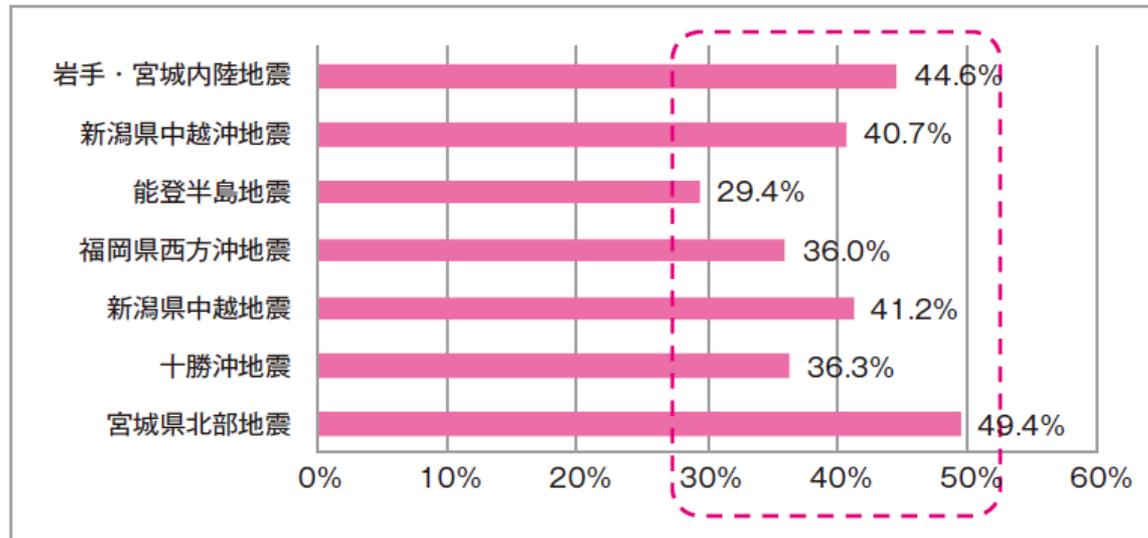
電話で聞き直すことができます

防災行政無線が聞こえにくい場合

大地震で起こる被害をイメージしましょう

**平常時での日頃の備えについて**

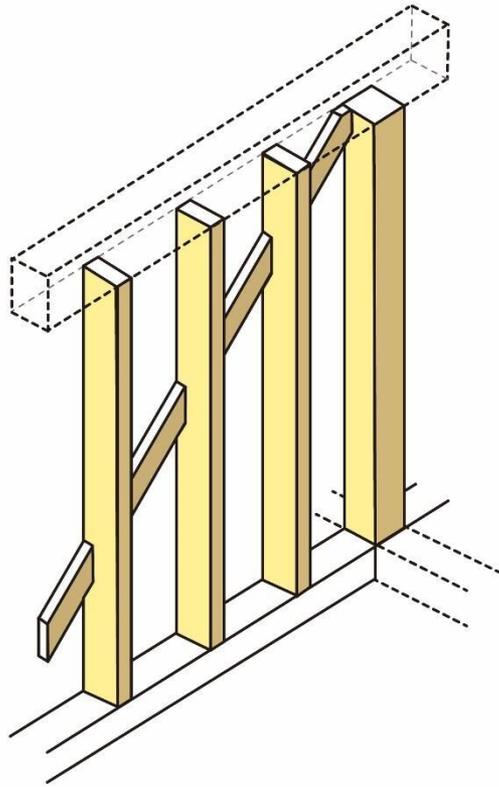
# 地震時におけるけが 最大の原因は家具類の転倒・落下



近年発生した地震における家具類の転倒・落下・移動が原因のけが人の割合

東京消防庁「家具類の転倒・落下・移動防止対策ハンドブック」より

# 間柱を探し、しっかりと固定する。



間柱センサーと探査錐





基本はL字金具



逆L字止め



上下をつなぐ

# オフィス家具類の固定



## コピー機

ボルト等が使えない場合は、強力接着器具を

## すきま家具

ロッカー固定のため、天井までピッタリの家具を入れる





電気・水道・ガスが9割程度復旧するまでの日数

ライフラインの  
復旧するまで

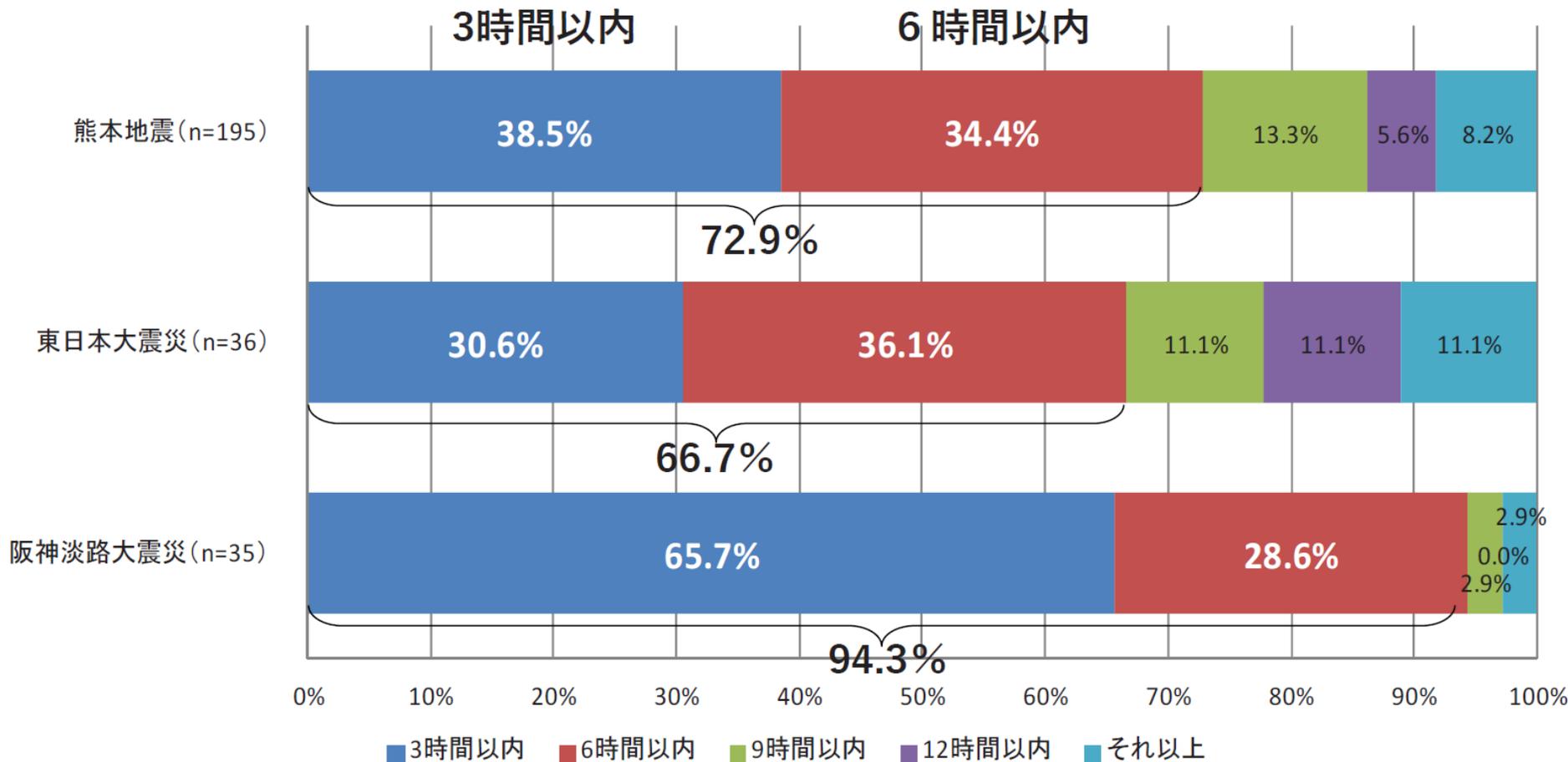
	東日本大震災 (2011/3/11)	阪神淡路大震災 (1995/1/17)
電気	6日	2日
水道	24日	37日
ガス	34日	61日



内閣府ホームページから

# 地震後、何時間でトイレに行きたくなったか？

水や食料より早く必要



調査：阪神淡路大震災・尼崎トイレ探検隊／東日本大震災・日本トイレ研究所／熊本地震・岡山朋子（大正大学人間学部人間環境学科）

© NPO Japan Toilet Labo.

避難所で聞いた「今、必要なもの」

20日	21日	22日
1) 簡易トイレ	1) 簡易トイレ	1) 下着
2) 毛布	2) 下着	2) 風邪薬など
3) 風邪薬など 医薬品	3) 風邪薬など 医薬品	医薬品
4) 生理用品	4) テント・シートなど	3) 簡易トイレ
5) 紙おむつ	5) 紙おむつ	4) テント・シートなど
6) トイレットペーパー	6) トイレットペーパー	5) 暖房器具
		6) コンロなど

(1995年1月24日付け日本経済新聞)

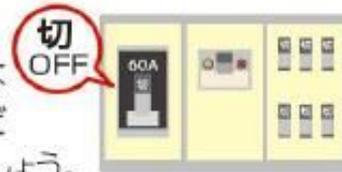
兵庫県・兵庫県警調べ

# 6 平常時・避難時の心得

## 避難する場合…

### ●避難する前に

電気のブレーカーを落とし、ガスなどの元栓を閉め、親類や知人などに避難することを連絡しておきましょう。



### ●災害用伝言板・SNSで連絡する

電話が通じなくなることを想定し、災害用伝言板やSNSを活用するなど連絡手段を複数用意しましょう。



### ●車での避難は控えて

車での避難は緊急車両の通行の妨げになり、交通渋滞を招きます。特別な場合を除き徒歩で避難しましょう。



### ●一人暮らしのお年寄りなどには気配りを

近所の一人暮らしのお年寄りや病気の方がいる場合は、声を掛け合って一緒に避難しましょう。



### ●速やかに避難しましょう

避難に関する情報が発表されたら、速やかに避難しましょう。避難の際には消防団員などの指示に従いましょう。



## 非常持出品・備蓄品リスト

リストを参考に家族構成に合わせて非常持出品・備蓄品の準備をしましょう。

### 非常持出品

避難しやすいよう、できるだけコンパクトにまとめましょう。

#### ●食料

- 飲料水 (持ち運びに便利なペットボトル)
- 非常食
- 乾パン
- アルファ米、レトルトご飯
- 缶詰 (魚、野菜、果物など)
- 携帯食 (チョコレート、キャンディなど)

#### ●日用品など

- リュックサック
- ビニール袋
- ティッシュペーパー
- ウエットティッシュ
- 新聞紙
- 筆記用具 (油性マジックなど)
- ろうそく、ライター、マッチ
- 軍手、タオル
- 懐中電灯、ランタン
- 携帯ラジオ
- 電池
- 携帯電話の充電器(バッテリー)
- 洗面用具、マウスウォッシュ
- 使い捨てカイロ
- 簡易トイレ
- 生理用品
- 缶切り、栓抜き
- 雨具(カッパ)
- 割り箸、使い捨て容器
- ラップ、アルミホイル

#### ●救急・安全対策

- 常備薬 (胃腸薬、かぜ薬など)
- 包帯、ガーゼ、ばんそうこう
- 傷薬、消毒薬
- 持病のある方の薬
- お薬手帳
- マスク
- ヘルメット
- 笛(ホイッスル)
- 地図 (ハザードマップ)
- マイナンバーカード、免許証など (身分を証明するもの)
- 家や車のスペアキー
- 連絡先を記入した手帳

#### ●貴重品

- 現金(小銭)
- 預金通帳、印鑑、クレジットカード
- 健康保険証

### 備蓄品

家族が最低3日間は過ごせるように備蓄しましょう

- 飲料水(1人1日2~3リットルを目安)
- 非常用給水袋
- 非常食 (缶詰、乾パン、レトルト食品など)
- カセットコンロ、ガスボンベ
- 衣類(上着・下着など)
- トイレットペーパー
- スコップ
- ロープ
- ブルーシート
- 工具
- ガムテープ

### 家族構成に合わせた準備

#### ●乳幼児がいる家庭

- 粉ミルクとほ乳瓶
- 液体ミルク
- 軟水・清潔な水
- ベビーソープ
- 離乳食
- ガーゼ
- おむつ
- おもちゃ・絵本
- お尻ふき
- 母子手帳

#### ●妊婦がいる家庭

- 病院の診察券
- 分娩準備品 (出産が近い場合)
- ナプキン
- お薬手帳
- 洗淨綿
- 毛布
- 母子手帳
- 着替え

#### ●高齢者がいる家庭

- 食料品 (水分が多く保存がきく物)
- おむつ・紙パンツ
- 持病等の薬
- お薬手帳
- 老眼鏡
- 入れ歯洗浄剤
- 身元の分かるもの

### ローリングストック法

非常持出品・備蓄品として保管する非常食などを定期的に消費し、その分だけ補充していく備蓄方法です。「食べながら備蓄する」ことで賞味期限を過ぎることがなく経済的です。

(買ってくる) (置いておく)



# 高齢者に必要な防災グッズ

- 簡易トイレ
- 持病の薬（お薬手帳）
- 老眼鏡・メガネ
- 成人用おむつ（普段は使用していなくても備える）
- 歯磨きシート
- 入れ歯洗浄シート（洗浄剤ではなく洗浄シートを備える）
- 折りたたみ式の杖（普段使用していない場合も備える）
- モバイルバッテリー（電池式がおすすめ）
- 電池（器具は同じ電池がつけえるのを用意（例単3等）
- 健康保険証やマイナンバーカード
- 貴重品（現金）
- 助聴器

# 自主防災組織



## 自主防災組織で安心・安全な地域づくり

災害はいつ何時発生するか分かりません、災害の規模によっては公共機関による支援・救出・救護が期待できないことがありますので、まずは自分の身は自分で守る行動(自助)をとりましょう。

また、このような事態が発生したときに、地域内で災害時の要援護者となる高齢者・身体障がい者・介助の必要な方に救助の手を差し伸べることができるのは、身近にいる地域のみなさんです。

「自分たちのまちは自分たちで守る」という、地域住民の連携に基づき、結成される防災組織のことを「自主防災組織」といい、災害の発生時に、住民が連携を取り、互いの身を守るための防災活動を共助といいます。自主防災組織を結成し、災害時の地域における役割分担などの体制を整えておくとともに、災害時の要援護者・避難経路などの情報を共有化することで、一人でも多くの命を守ることができます。今後の防災対策は、地域のみなさんが行政や各防災機関(公助)と一緒にこなっていくことが重要です。

## 自分の身は自分で守る(自助)

小城市防災ハザードマップなどから災害に関する知識を身に着け、災害に対する準備をしてください。

### 自助のとりくみ

- 自宅、職場、学校のまわりや通勤路、通学路の土砂災害警戒区域・浸水想定区域・揺れやすさなどを確認しておきましょう。
- いざという時の避難所を確認しておきましょう。
- 非常時持出品、備蓄品を用意しておきましょう。
- 災害時の情報の入手方法を確認しておきましょう。



# 自主防災組織で地域を守る(共助)

自主防災組織とは、地域の皆さんが災害に対して協力し合う組織です。

自主防災組織を結成し、地域防災活動をおこなうことで災害に強いまちづくりを目指しましょう。

## 平常時の活動

- 作ろう、参加しよう、育てよう!  
隣近所や行政区などで、互いに助け合い、協力し合える体制づくりをしましょう。
- 地域を点検しよう!
  - ・ 消火栓や防火水槽の近くに、障害物はありませんか?
  - ・ 避難場所を皆さんが知っていますか?
  - ・ 避難経路に危険な場所はありませんか?



- みんなで学ぼう!  
防災に関する知識を身につけましょう。想定される災害と対応について話し合みましょう。
- 訓練をしよう!
  - ・ 初期消火訓練
  - ・ 避難所の開設・運営訓練
  - ・ 避難者の誘導訓練



## 災害時の活動

- 初期消火活動 身の安全を第一に考え、消火器などを用いた初期消火の実施
- 避難誘導支援 高齢者や障がいをお持ちの方々などへ避難誘導の支援
- 救出・救護活動 まず身の安全を確保し、その後に被災者の救出や救護活動の支援
- 情報の収集・伝達 災害に関する正しい情報を収集・伝達する
- 避難所の支援 水や食料などの配給や炊き出しなどを活動支援



防災訓練



自主防災組織リーダー研修会

地震・台風・豪雨被害に対し、地域防災の強化をめざし、国・県より地域住民主体による自主防災組織の活動が強く望まれており、みなさまの地域の組織作りを市では啓蒙・普及をおこなっております。  
※詳しくは、市ホームページまたは、市防災対策課までお問い合わせください。

知識だけは命は守れません！

**ご近所、親戚、知人**

顔の見える関係を作ること  
も大切です。